

アジア文化研究所活動報告  
(2005年1月-2005年12月)

1. 公開講演

1. “The Legacy of Manchukuo to Two Koreans,” Han Suk-Jung (東亜大学助教授、国際日本文化研究センター客員教授) 平和研究所と共催。2005. 2. 16
2. 「アジアの南と北から：音の架け橋」 T. M. Hoffman, Abdul Rahman, I-WEEK 特別演奏会。2005. 10. 11
3. 「アジアそして非戦へのまなざし」 山室信一 (京都大学人文科学研究所教授、法政制度連鎖史) 西洋史Ⅱ特別公開講演。平和研究所と共催。2005. 10. 27

2. アジア研究フォーラム

1. 「水俣病被害と政府の対応：日本の戦後民主主義」 Anja Osiander (大阪大学大学院法学研究科外国人研究員、ドレスデン工科大学東アジアセンター講師) 2005. 1. 31
2. 「日韓関係「難しさ」の構図」 玉置 拓 (国際基督教大学アジア文化研究所研究員、国際関係) 2005. 4. 18
3. 「教科書問題」 西川正雄 (東京大学名誉教授、ヨーロッパ現代史) 2005. 6. 6
4. 「現在の日中関係を考える」 三船恵美 (駒澤大学法学部助教授、現代中国外交・政治) 2005. 9. 26
5. 「国連安全保障理事会再編と日本」 Reinhard Drifte (ニューカッスル大学名誉教授、早稲田大学客員教授、日本政治史) 2005. 10. 3
6. 「『非人道的』な鎖国制度に挑むアメリカ人宣教師——ペリーの首席通訳者 S. W. ウィリアムズのこと——」 陶 徳民 (関西大学文学部教授、日本思想史、東西文化交流史) 2005. 12. 12

3. シンポジウム

1. 国際シンポジウム “Militant Islam in Southeast Asia: Contested Vision of Justice and Community” 於 ICU、ディッフェンドルファー記念館西館多目的ホール。2005. 2. 19  
国際基督教大学 21 世紀 COE プログラム 「『平和・安全・共生』研究教育の形成と展開」 協賛  
開会挨拶  
鈴木典比古 (ICU 学長)、高澤紀恵 (アジア文化研究所所長)  
「現代インドネシアのイスラム活動家」  
Azyumardi Azra (インドネシア国立イスラム大学学長)  
「マレーシアにおける政治的イスラム勢力」  
Abdul Rahman Embong (マレーシア国民大学教授)  
「南タイにおけるイスラム勢力の病理学」  
Omar Farouk Bajunid (広島私立大学教授)  
「フィリピン南部における独立ムスリム国民国家への苦闘」  
Temario C. Rivera (ICU 教授)  
司会 染谷臣道、新津晃一
2. シンポジウム 「パロディと日本文化」 於 ICU、湯浅八郎記念館。2005. 11. 12  
開会挨拶  
M. W. Steele (ICU 教養学部長)、高澤紀恵 (アジア文化研究所所長)  
「パロディの理論」  
ツバタナ・クリステワ (ICU 教授)  
「百鬼夜行絵巻の図像を読む」  
小峯和明 (立教大学教授)  
「『小紋雅話』の仕掛け——山東京伝作絵画本のパロディ」  
岩崎均史 (「たばこと塩の博物館」主任学芸員)  
「『聖人の道』と『色道』」  
小島康敬 (ICU 教授)  
“Where Did the Parody Go?: History and Ethnicity in early Meiji Fiction”

ジョン・マーツ（ノースカロライナ州立大学準教授、アジア文化研究所研究員）  
「中国文化におけるパロディ」  
古藤友子（ICU 教授）  
司会 M. W. スティール、広瀬正宣

#### 4. 日本アジア研究学会（第 9 回）

於 上智大学市ヶ谷キャンパス。2005 年 6 月 18、19 日  
共催：上智大学比較文化学科と共催  
（詳細は p. 291, 4. Asian Studies Conference Japan を参照のこと）

#### 5. 出版物

##### 1. 『アジア文化研究』31 号（2005 年 3 月 30 日発行）

###### 論文

- Imperative Clauses in Lai and Mizo ..... George Bedell  
フランス語副詞分類の試み ..... 青井 明  
Gender Masquerade: Reflections on *Irezumi* ..... Ikoma Natsumi  
The Palace Murder of Soga no Iruka and the Taika Reform ..... Rinier H. Hesselink  
日露戦争期英米ジャーナリズムに見る岡倉覚三一行  
——「日本美術院欧米展新聞記事切り抜き帳」について—— ..... 岡本佳子  
Japan's Annexation of Korea as its Power Identity Representation ..... Tamaki Taku  
The Theory of Government Plot?: The Massacre of Koreans in Japan  
in September 1923 ..... Ishiguro Yoshiaki  
近現代の歌謡に見る放浪漂泊 ..... 福田秀一  
研究ノート  
Female Political Leadership in Asia: Do women lead better? ..... Claudia Derichs  
「D-E 理論」と翻訳における意味の等価性について  
——芭蕉の「古池」の英訳を基に—— ..... 松中完二  
執筆者紹介  
アジア文化研究所活動報告（2004 年 1 月～12 月）

##### 2. 『アジア文化研究』別冊 14 号（2005 年 3 月 31 日発行）

- 編者まえがき ..... 高澤紀恵  
近代日本「戦時図像」解釈——「家族」の場合 ..... 河田明久  
Ideology in Search of Supporting History: A Content Analysis of Controversial  
Japanese History Textbook *Atarashii Rekishi Kyōkasho*, 1894–August 1931 ..... Harry Wray  
A War over Words: Changing Descriptions of Nanjing in Japanese History Textbooks  
..... Takashi Yoshida  
Pearl Harbor as “New History”: Japanese-American Relations, 1938–1941,  
and the *Atarashii Rekishi Kyōkasho* ..... Peter Mauch  
The Japanese History Textbook Controversy and the Legacy of the Textbook Reform  
of the Allied Occupation ..... Timothy M. Yang  
横井小楠の暗殺をめぐる事件と「天道覚明論」をめぐる問題 ..... 源 了圓  
執筆者紹介

#### 6. 長清子アジア研究学術奨励金（2005 年 3 月 Friends of ICU 指定寄付）

斉藤郁子（国際関係学科）“Tide of Nationalism in Taiwan under the Colonial Rule of Japan: A Study of Lin Chenglu and the Petition Movement for Establishing Taiwanese Parliament”  
石橋加奈子（行政学研究科博士課程前期）“Urban Migration and Rural Stabilization—Rural Stabilizing Factors of Karen Woman in Northern Thailand”

#### 7. 人事動向

##### 1. 所員

2005. 3 近藤洋子教授退職

2005. 6 Barbara Ambros 助教授退職  
 2005. 4 Rashila Ramli 客員教授就任  
 2005. 4 田仲康博助教授就任  
 2005. 11 Gavan McCormack 客員教授退職  
 2005. 11 Rashila Ramli 客員教授退職
2. 研究員（無給）
2005. 4 John Edward Dougill（龍谷大学、宗教学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 4 市川 哲（立教大学アジア地域研究所、文化人類学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 4 Vivek Paul Pinto（アジア史）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 4 杉本雅子（恵泉女子学園大学、言語学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 6 Michael Kevin Bourdaghs（カリフォルニア大学、日本文学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 6 William Grimes（ボストン大学、国際関係学）（2005. 9. 10 まで）  
 2005. 7 John Pierre Mertz（ノースカロライナ州立大学、日本文学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 7 宮沢恵理子（ICU、歴史学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 7 高崎 恵（ICU、人類学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 8 梅津順一（聖学院大学、政治経済学）（2006. 3. 31 まで）  
 2005. 9 Setsuko Buckley（シアトルパシフィック大学、国際教育学）（2005. 12. 31 まで）  
 2005. 9 Hiroko Willcock（グリフィス大学、比較文化研究）（2005. 11. 30 まで）
3. 準研究員（無給）
2005. 4 李 彦兵（中華人民共和国衛生部、日中医療用語比較）（2005. 3. 31 まで）
4. 秘書（非常勤）
2005. 9 田中幸絵退職  
 2005. 9 埜 洋子就任

## 8. 構成員（2005年12月31日現在・ABC順）

1. 所長 高澤紀恵（社会科学科教授、歴史学）
2. 所員
  - 広瀬正宜（語学科教授、日本語学）
  - 黄 仁相（社会科学科準教授、経済学）
  - 池田理知子（国際関係学科準教授、コミュニケーション）
  - 生駒夏美（人文科学科助教授、英米文学）
  - 加藤恵津子（国際関係学科助教授、比較社会・文化論）
  - 菊池秀明（社会科学科準教授、歴史学）
  - 小島康敬（社会科学科教授、歴史学）
  - 古藤友子（語学科教授、中国語・東アジア思想史）
  - Tzvetana Ilieva Kristeva（人文科学科教授、日本文学）
  - Mark W. Langager（教育学科助教授、教育学）
  - John C. Maher（国際関係学科教授、言語学）
  - Shaun K. Malarney（国際関係学科教授、人類学）
  - Gavan McCormack（社会科学科客員教授、政治学）
  - 森本光生（理学科教授、数学）
  - 那須 敬（社会科学科助教授、歴史学）
  - 新津晃一（国際関係学科教授、社会学）
  - Ramli Rashila（国際関係学科客員教授、国際関係論）
  - Temario C. Rivera（国際関係学科教授、国際関係論）
  - Kenneth R. Robinson（社会科学科準教授、歴史学）
  - 佐藤 豊（語学科教授、日本語学）
  - 染谷臣道（社会科学科教授、人類学）
  - M. William Steele（社会科学科教授、歴史学）
  - 田中和子（国際関係学科教授、社会学）
  - 田仲康博（国際関係学科助教授、社会学）
  - Wilhelm M. Vosse（社会科学科助教授、政治学）
  - Richard L. Wilson（人文科学科教授、美術・考古学）

3. 顧問 長(武田)清子、葛西 實、源 了圓、魚住昌良
4. 客員所員 福田秀一、原喜美、飛田良文、一瀬智司、稲垣滋子、中村妙子
5. 研究員
  - Michael Kevin Bourdaghs (UCLA、日本文学) (2005. 6. 1-2006. 3. 31)
  - Setuko Buckley (シアトルパシフィック大学、国際教育学) (2005. 9. 1-2005. 12. 31)
  - John Edward Dougill (龍谷大学、宗教学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 江川由布子 (ルーテル学院大学、歴史学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - William W. Grimes (ボストン大学国際関係学部準教授) (2005. 6. 11-2005. 9. 10)
  - 市川 哲 (立教大学アジア地域研究所、文化人類学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 李 迎紅 (桜美林大学、中国文学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 眞嶋亜有 (日本学術振興会、近代日本社会・文化史) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 松中完二 (敬愛大学、言語学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - John Pierre Mertz (ノースカロライナ州立大学、日本文学) (2005. 7. 1-2006. 3. 31)
  - 宮沢恵里子 (ICU、歴史学) (2005. 7. 1-2006. 3. 31)
  - Vivek Paul Pinto (アジア史) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 坂元ひろ子 (一橋大学、近現代中国思想史) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 杉本雅子 (青山学院女子短期大学、言語学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 玉置 拓 (ICU、国際関係政治学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 高崎 恵 (ICU、人類学) (2005. 7. 1-2006. 3. 31)
  - 梅津順一 (聖学院大学、政治経済学部) (2005. 8. 1-2006. 3. 31)
  - 宇野彩子 (ICU、歴史学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - Bambang Wibawarta (インドネシア大学、日本文学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - Hiroko Willcock (グリフィス大学、比較文化研究) (2005. 9. 1-2005. 11. 30)
6. 準研究員
  - 早川朝子 (ICU、歴史学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 香月節子 (東京農業大学、民俗学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 李 彦兵 (中華人民共和国衛生部、日中医療用語比較) (2005. 4. 1-2005. 3. 31)
  - 岡本佳子 (ICU、歴史学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - Jens Sagen (オーフス大学、歴史学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - Christian Wilhelm Spang (法政大学、日本史) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 田畑幸嗣 (上智大学、考古学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - 豊島志乃 (ロンドン大学、アジア・アフリカ研究) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
  - Michael Wachutka (テュービンゲン大学、歴史学) (2005. 4. 1-2006. 3. 31)
7. 研究助手 (非常勤)
  - 鄭 戴勳 (歴史学)
  - 宮沢恵理子 (歴史学)
  - 高崎 恵 (人類学)
  - 田中祐介 (歴史学)
8. 秘書 (非常勤)
  - 沼田由紀子、大槻睦子、田中幸絵、埴洋子